



最優秀賞

# 城下町の歴史的景観に 調和する偉人館 ～杵築市旧家地区計画に伴う再利用～



大分工業  
小幡 莉久

## 設計主旨

私は、中学校のHRAの授業で、大分県  
のふるさとの魅力発見事業「先人の生き方から  
学ぶ道徳授業」の中で、重光葵氏が魅力  
あふれる郷土の先人として紹介されました。

重光葵は、外交官として世界各国へ赴任  
し、のちに外務大臣となります。戦後も、  
再度大臣となり、国際連合の総会で演説を  
行った大分県の偉人です。

この偉大な功績を知り、今回の設計にお  
いて、重光葵氏の功績を称え、生家である  
杵築の「無迹庵」、国東にあった重光家本  
家の再建を、杵築の城下町地区計画によって生じた空き地に建築し  
ようと思いました。

杵築市の城下町地区に設計した理由は、この計画によって地区の  
街並みは保全され、歩行空間はより安全なものになりました。しかし、  
商業を営む住民は、店舗などの建て替えによる生活空間の変化  
を強いられた結果、空き店舗となった建物は空き地へと転換し、地区  
の大きな課題となりました。私も現地へ調査へ行きましたが、空き  
地が点在し、街の活性化に繋がっていないと感じました。

杵築市城下町地区計画で生じた空き地に、この場所から少し離れた  
場所にある「無迹庵」と、今は存在しない国東市安岐町（現在は「山  
溪異人館」がある）にあった「重光本家」を再建し、同じ敷地内に  
設計しました。

杵築の城下町の環境に調和した住まい兼展示館と、大分県下に点  
在する重光葵氏の功績を称え、地区の活性化も踏まえてプランニング  
しました。

私は、日本で課題になっている環境は、エネルギー問題だけでは  
なく、杵築などの美しい城下町が街の整備によって空き家や空き地  
が増え、地域環境や環境保全に繋がっていないと感じました。今回  
の設計により、城下町の活性化や重光氏の功績も称え、魅力ある場  
所になれるように設計しました。

